

筑波技術短期大学附属診療所活動報告

1. 組織 (2005年2月現在)

専任職員

所長・教授	青柳一正 (漢方, 内科)
助教授	津嘉山洋 (鍼灸)
助手	山下仁 (鍼灸)
看護部	菊池典子 (師長)
	根本由紀子
薬剤部	金子鶴子
臨床検査部	木村里美
放射線部	水木知恵
医事係	瀬尾栄一 (専門職員)
	鈴木文子

併任職員

鍼灸学科

教授	柴崎正修 (小児科)
教授	吉田紀明 (神経内科)
教授	形井秀一 (鍼灸)
教授	森山朝正 (鍼灸)
助教授	坂井友実 (鍼灸)
助教授	野口栄太郎 (鍼灸)
助教授	藤井亮輔 (鍼灸)
助教授	森英俊 (鍼灸)
助教授	和久田哲司 (鍼灸)
講師	佐々木健 (鍼灸)
助手	木村友昭 (鍼灸)
助手	殿山希 (鍼灸)
技官	市川あゆみ (鍼灸)

理学療法学科

助教授	木下裕光 (整形外科)
助教授	吉田次男 (放射線科)

保健管理センター

教授	深間内文彦 (心療内科)
教授	市川忠彦 (精神科)

非常勤職員

看護部	森田和恵
臨床検査部	古澤敏子
放射線受付	望月雅子
鍼灸部	
受付	菊地良子
	作間千鶴子
鍼灸師	堀紀子
	稲木千春
	谷津忠志
	山根慎司

附属診療所研修生 24名

鍼灸学科研究生 1名

鍼灸学科アドバンスコース 1名

客員研究員 エマヌエラ・カサノバ (イタリア人医師)

2. 概要

平成4年度に開設された当診療所は、国立大学の法人化に伴って平成16年度より国立大学法人筑波技術短期大学の附属診療所として、地域への医療サービスの提供とともに鍼灸学科学生の臨床実習の場として機能している。当診療所は、平成5年度から鍼灸師の卒後臨床研修を行っており、既に92名の鍼灸師・医師が研修を行ってきた。

また、平成14年度には、患者さんに待ち時間を快適に過ごしていただくための工夫として診療所ギャラリー (<http://www.tsukuba-tech.ac.jp/docs/gallerykasuga.htm>) をオープンした。

臨床・研究・学生教育のほかに、鍼灸学科との共同企画により学外者を対象とした公開講座も実施している。

- 1) 「家庭でできる鍼灸・手技療法」：一般市民を対象に講義と実習を含めて行った。
- 2) 「鍼灸・手技の臨床実技講座」：鍼灸師を対象に実技を中心に行った。
- 3) 「医師のための鍼灸実践講座」：医師を対象に講義と実技を含めて行った。

平成17年度秋からは四年制大学「筑波技術大学 (仮称)」の保健学部附属のセンターとして、漢方・鍼灸・西洋医学を統合した新しい医療のコンセプトを目指して活動を継続する予定である。

3. 研究業績

◇著書

- 1) 青柳一正, 他: 非炎症細胞におけるヒドロキシラジカル産生機構の研究: 単離肝細胞におけるパルピツレートの役割. In 松澤直輝, 青柳一正 (編): 腎とフリーラジカル第7集. 東京医学社, 35-7, 2004.
- 2) 青柳一正・他: 肝細胞におけるヒドロキシラジカル産生はNOにより増減する: カルモジュリンアンタゴニストによる検討. In 松澤直輝, 青柳一正 (編): 腎とフリーラジカル第7集. 東京医学社: 38-41, 2004.
- 3) 青柳一正: 私の尿毒症研究30年. In 大平整爾 (編): 腎不全とともに歩んで. 日本メディカルセンター, 42-3, 2004.
- 4) 青柳一正: 抗酸化薬. In 浅野泰, 下条文武,

秋澤忠男(編)：腎臓病-診断と治療の最前線-
(先端医療シリーズ 31-腎臓病). 先端医療技
術研究所, 287-91, 2005.

- 5) 青柳一正：フリーラジカル. In 浦信行, 柏原直樹, 他(監)：腎臓ナビゲーター. メディカルレビュー社, 92-93, 2004
- 6) 形井秀一：陰部肛門の痛み. ペインクリニックと東洋医学. In 森本昌宏(編)：真興交易(株)医書出版部, 454-456, 2004.
- 7) 形井秀一：排尿障害. ペインクリニックと東洋医学. In 森本昌宏(編)：真興交易(株)医書出版部, 781-782, 2004.
- 8) 形井秀一：月経困難症と更年期障害. ペインクリニックと東洋医学. In 森本昌宏(編)：真興交易(株)医書出版部, 792-793, 2004.
- 9) 宗正敏, 青柳一正(編)：腎とフリーラジカル第6集. 東京医学社, 2002.
- 10) 山下仁：鍼の合併症；胸部・背部の痛み 鍼灸治療の実際；腹部の痛み 鍼灸治療の実際；股関節周囲の痛み 鍼灸治療の実際. 森本昌宏(編)：ペインクリニックと東洋医学. 真興交易(株)医書出版部, 284-285；416-417；425-426；465-466, 2004.
- 11) 山下仁：日本におけるCAMと統合医療の普及状況. 渥美和彦(編)：国際「統合医療」元年. 日本医療企画, 120-126, 2004.

◇原 著

- 1) 小川卓良, 形井秀一, 篠原昭二：局所治療と遠隔治療アンケート調査. 全日本鍼灸学会誌 2004;54(1):14-26.
- 2) Yamashita H, Tsukayama H: Characteristics of Acupuncture Patients in Japan - Data from Nationwide Survey on Complementary and Alternative Medicine -. Journal of the Japan Society of Acupuncture and Moxibustion (Online) 2004; 25-Sep.
- 3) 山下仁, 津嘉山洋：統合医療の現状：国内に普及している代替医療と統合医療との違い, 日本統合医療学会誌 2004 ; 1(1) : 63-64.

◇総説・解説

- 1) 青柳一正：ガイドラインに基づく腎尿路疾患－診断・予防-治療：蛋白尿. 腎と透析 20004；55：593-6.
- 2) Casanova E, Eto F, Yamashita H, Tsukayama H, Takeuchi Y: Current state of acupuncture treatment in Europe. Jpn J Rehabil Med (リハビリテーション医学) 2004；41(12)：846-848.

- 3) Yamashita H: Complementary and alternative medicine in Japan: imitation and originality. Focus on Alternative and Complementary Therapies 2004; 9(1): 3-4.
- 4) 山下仁, 江川雅人, 榎田高士, 宮本俊和, 石崎直人, 形井秀一：国内で発生した鍼灸有害事象に関する文献情報の更新(1998～2002年)および鍼灸治療における感染制御に関する議論. 全日本鍼灸学会雑誌 2004;54(1):55-64.
- 5) 山下仁, 形井秀一：鍼灸治療と両側性気胸. 全日本鍼灸学会雑誌 2004 ; 54(2) : 142-148.
- 6) 山下仁, 津嘉山洋: 欧米における未病の認識. 漢方と最新治療 2004 ; 13(2) : 111-115.
- 7) 山下仁, 津嘉山洋: 鍼灸の安全性. リハビリテーション医学 2004 ; 41(12) : 829-835.

◇その他の論文など

- 1) 形井秀一：WHOの国際標準経穴・361穴の位置はどこまで決まったか. 医道の日本 2004;(727):115-22.
- 2) 形井秀一：第二次日本経穴委員会便り～第1回ツボから世界を考える～. 医道の日本 2004;(730):190-1.
- 3) 形井秀一, 篠原昭二, 浦山久嗣, 他4名：第3回国際経穴部位標準化に関する非公式諮問会議報告. 全日本鍼灸学会誌 2004;54(4):785-8.
- 4) 形井秀一：拡大用語委員会の報告. 伝統鍼灸 2004;30(3):50-1.
- 5) 川喜田健司, Jang J-H, 高橋則人, 鍋田智之, 津嘉山洋, Seo J-C, Lee S-H, 津谷喜一郎, 丹澤章八：第1回日韓鍼とEBMのワークショップ報告-日韓協同の臨床試験の実現に向けての提案-. 全日本鍼灸学会雑誌 2004;54(5):717-27. 山下仁, 津嘉山洋：日本における相補・代替医療の利用の現状と課題. 病院 2004 ; 63(5) : 379-383.
- 6) Kawakita K, Jang J, Takahashi N, Nabeta T, Tsukayama H, Seo J, Lee S, Moon SK. Report on the 1st Japan-Korea Workshop on Acupuncture and EBM -Proposal of Clinical Trials for the Future Japan-Korea Collaboration-. Journal of the Japan Society of Acupuncture and Moxibustion (Online) 2004; 7 Oct.
- 7) 山下仁：鍼灸技術のエビデンス (2) 坐骨神経痛の鍼刺激法. 鍼灸の世界 (桜雲会) 2004 ; 80 : 31-41.
- 8) 山下仁：鍼灸技術のエビデンス (3) 頸肩こりの鍼刺激法. 鍼灸の世界 (桜雲会) 2004 ; 81 :

33-41.

- 9) 山下仁：鍼灸技術のエビデンス (4) 五十肩の鍼刺激法. 鍼灸の世界 (桜雲会) 2004 ; 82 : 28-37.
- 10) 山下仁：鍼灸技術のエビデンス (5) 腰痛の鍼刺激法. 鍼灸の世界 (桜雲会) 2004; 83:44-55.
- 11) 山下仁：第一回国際統合医療専門家会議印象記. たにはだより 2004 ; 20(1) : 6-7.

◇学会発表

- 1) 青柳一正：糖毒性の治療戦略 抗酸化薬. 第21回和漢医薬学会シンポジウム「糖毒性の治療戦略第21回和漢医薬学会大会」, 富山, 2004. 8. 22.
- 2) 青柳一正, 平川暁子, 大坂基男, 中島基雄, 家永和治：肝細胞におけるヒドロキシラジカル産生と情報伝達機構. 第25回グアニジン化合物研究会, 東京, 2004年9月.
- 3) 青柳一正：世話人. 第25回グアニジン化合物研究会, 東京, 2004年9月.
- 4) 青柳一正, 中島基雄, 大坂基男：肝細胞におけるヒドロキシラジカル産生は NO により増減する：カルモジュリンアンタゴニストによる検討. 第16回腎とフリーラジカル研究会, 京都, 9月.
- 5) 青柳一正：テーマ「漢方薬とフリーラジカル」活性酸素の基礎知識. 第16回東洋医学会関東甲信越地方会シンポジウム』
- 6) 青柳一正：司会. 第16回東洋医学会関東甲信越地方会シンポジウム「漢方薬とフリーラジカル」.
- 7) 青柳一正：「新しい生体の酸化ストレスマーカーによる活性酸素産生機構の解析—機能性食品の開発に向けて」. 第3回つくばベンチャーフォーラム, 2004年11月.
- 8) 青柳一正：「和漢薬と活性酸素」：植物とケア—健康と食品のサイエンス. 千葉大学環境健康フィールド科学センターおよび千葉県高機能性食品開発事業化研究会合同シンポジウム, 柏, 2004年12月.
- 9) Casanova E, 山下仁, 津嘉山洋, 竹内良臣：ヨーロッパにおける鍼治療の現状. 第41回日本リハビリテーション医学会学術集会. 東京都新宿区, 6月3-5日, 2004.
- 10) Furlan AD, Tulder M, Cherkin D, Tsukayama H, Lao L, Koes B and Berman B: Acupuncture for low-back pain. An updated Cochrane systematic review, American Pain Society/Canadian Pain Society Joint Meeting. Vancouver, May 6-9, 2004.
- 11) Furlan AD, Tulder M, Cherkin D, Tsukayama H, Lao L, Koes B and Berman B: Acupuncture for low-back pain. An updated Cochrane systematic review. Society for Acupuncture Research 11th annual symposium. San Francisco, Oct. 1-3, 2004.
- 12) 形井秀一, 矢野忠, 小林詔司：生活と鍼灸. 全日本鍼灸学会誌 2004; (3):332.
- 13) 形井秀一：鍼灸における健康の考え方とそのあり方—「養生」および「治未病」について—. 全日本鍼灸学会誌 2004; (3):333.
- 14) 小川卓良, 形井秀一, 篠原昭二：局所治療と遠隔治療 3—局所治療の適応と限界、遠隔部治療の適応と限界—. 全日本鍼灸学会誌, 2004; (3):346.
- 15) 箕輪政博, 形井秀一：あん摩鍼灸教育の学生への臨床実習指導について. 全日本鍼灸学会誌 2004; (3):447.
- 16) 形井秀一, 長田勝太郎, 他6名：緩和医療と東洋医学 (鍼灸と漢方). 日本東洋医学会 第55回日本東洋医学会ワークショップ, 2004年5月.
- 17) 形井秀一, 小林健二, 浦山久嗣, 篠原昭二：孔穴を考える. 伝統鍼灸 第32回学術大会, 2004年11月
- 18) Tsukayama H: Learning from the multi-center randomized controlled trial on acupuncture for lumbago, the first Japan-Korea/Korea-Japan Joint Workshop on Acupuncture and EBM. Chiba, June 11, 2004.
- 19) Tsukayama H, Yamashita H, Kimura T, Ohtsuki K, Factors which influence the applicability of sham needle in acupuncture trials: two randomised single-blind, cross-over trials with acupuncture-experienced subjects. The 6th World Conference on Acupuncture. Gold Coast, Australia. October 29-31, 2004.
- 20) 辻内敬子, 小井土善彦, 形井秀一, 妊婦の腰痛に対する灸療法—妊娠期に取り入れる灸の有用性—, 全日本鍼灸学会誌, 2004; (3):474.
- 21) Yamashita H: Popularity of complementary and alternative medicine in Japan. The 1st International Meeting for Experts on Integrative Medicine. Tokyo, Japan. January 31-February 1, 2004.
- 22) Yamashita H, Tsukayama H: Characteristics of acupuncture and Kampo users in Japan. The 6th World Conference on Acupuncture. Gold Coast, Australia. October 29-31,

2004.

- 23) Yamashita H, Tsukayama H, Aoyagi K: Acupuncture needle fainting: analysis of incident reports at a national college clinic in Japan. 11th Annual Symposium on Complementary Health Care. Exeter, UK. November 17-19, 2004.
- 24) 山下仁, 津嘉山洋: 鍼灸の安全性. 第41回日本リハビリテーション医学会学術集会. 東京都新宿区, 6月3-5日, 2004.
- 25) 山下仁: 鍼灸安全性に関連する既存のエビデンス 5. 刺入深度. 第53回全日本鍼灸学会学術大会. 千葉県幕張, 6月11-13日, 2004.
- 26) 山下仁, 津嘉山洋: 日本の成人鍼灸受療者の実態-2001年の全国規模電話調査結果より-. 第53回全日本鍼灸学会学術大会. 千葉県幕張, 6月11-13日, 2004.
- 27) 山下仁, 津嘉山洋: 健康保険適用漢方製剤とOTC漢方・生薬の成人利用者の比較-2001年全国規模の電話調査データの再利用結果-. 第55回日本東洋医学会学術総会. 横浜市(パシフィコ横浜), 6月25-27日, 2004.
- 28) 山下仁: 代替医療・統合医療の臨床研究における個性を考慮した新しい評価手法. 国際シンポジウム-代替医療の評価-. 東京大学, 10月8日, 2004.

◇講演など

- 1) 形井秀一: 東洋医学. 茨城県立中央看護専門学校講演, 2004年2月
- 2) 形井秀一: 女性の健康と東洋医学. 茨城県立医療大学講演. 2004年6月.
- 3) 形井秀一: 学生・初学者のための教育セミナー. 伝統鍼灸第32回学術大会, 2004年11月.
- 4) 津嘉山洋: 鍼灸臨床研究の現場から一人を対象とする研究に求められる倫理について-. 第17回鍼灸科学教室講座. つくば市春日筑波技術短期大学視覚部, 2004年4月14日.
- 5) 山下仁: 代替医療と統合医療の普及, 認識, および研究の現状と将来. 群馬大学医学部保健学科統合医療概論特別講演. 群馬大学保健学科. 2004年1月19日.
- 6) 山下仁: 文献から見た鍼灸医療事故とその防止策. 全日本鍼灸学会神奈川地方会第118回定例研修会. 横浜市新横浜呉竹鍼灸柔整専門学校, 2004年1月25日.
- 7) 山下仁: 失敗から学ぶ鍼灸安全管理-過誤の実態と今後の取り組み-. 第18回鍼灸科学教室講座. つくば市春日筑波技術短期大学視覚部, 2004年5月12日.

- 8) 山下仁: 鍼灸治療において注意すべき過誤. 平成16年度つくば鍼灸研究会. つくば市春日筑波技術短期大学視覚部, 2004年6月22日.
- 9) 山下仁: 安全な鍼灸施術を行うための臨床教育について. 平成16年度視覚障害教育専門研修講座. 東京都文京区東京都立文京盲学校, 2004年8月4日.
- 10) 山下仁: 鍼灸におけるEBMの考え方と動向. 社団法人北海道鍼灸師会学術講演会特別講演. 北海道札幌市札幌コンベンションセンター, 2004年8月29日.
- 11) 山下仁: 代替医療としての鍼灸の役割と課題. 第53期(社)日本鍼灸師会学術講習会(通算635回). 東京都豊島区南大塚 日本鍼灸会館, 2004年11月28日.

◇公開講座

- 1) 形井秀一: 医師のための鍼灸実践講座-産婦人科の鍼灸(灸実技を含む). 筑波技術短期大学公開講座. つくば市春日筑波技術短期大学視覚部, 2004年11月7日
- 2) 津嘉山洋: 医師のための鍼灸実践講座-総論(概観およびエビデンス). 筑波技術短期大学公開講座. つくば市春日筑波技術短期大学視覚部, 2004年9月5日
- 3) 山下仁: 家庭でできる鍼灸・手技療法-灸療法-. 筑波技術短期大学公開講座. つくば市春日筑波技術短期大学視覚部, 2004年7月9日